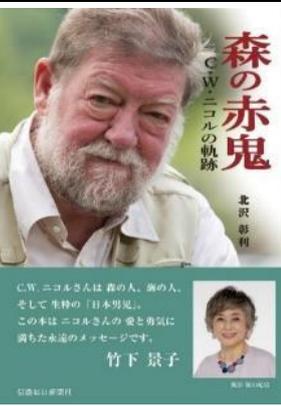
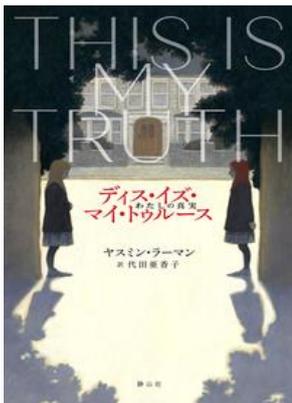


	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どうぶつどっちからよんでも たぶんぶた</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 本村亜美 絵 高島純</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>絵本館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年12月</td></tr> </table>	1		書名	どうぶつどっちからよんでも たぶんぶた	著者等	文 本村亜美 絵 高島純	出版社	絵本館	定価	1,400	対象	小学校低学年	発行	2022年12月	<p>前から読んでも、後ろから読んでも同じ文章になる「回文」。「たぶんぶた」「さるねるさ」など動物が登場する31の回文が並ぶ。すべて動物のことで回文になっていることが特徴である。声に出して読むと楽しくなってくる絵本。本村亜美・高島純の二人が出版している「どっちから よんでも」のシリーズは、他に「どっちから よんでも 一にわとりとわにー」「日本どっちからよんでも 一さんぽっ にっぼんさ」がある。声に出して読むことで日本語の楽しさや美しさを感じることができる本。</p>
1																
書名	どうぶつどっちからよんでも たぶんぶた															
著者等	文 本村亜美 絵 高島純															
出版社	絵本館															
定価	1,400															
対象	小学校低学年															
発行	2022年12月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ぼくって、ステキ?</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 ファン・インチャン 訳 おおたけきよみ 絵 イ・ミョンエ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>光村教育図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年2月</td></tr> </table>	2		書名	ぼくって、ステキ?	著者等	文 ファン・インチャン 訳 おおたけきよみ 絵 イ・ミョンエ	出版社	光村教育図書	定価	1,400	対象	小学校低学年～	発行	2023年2月	<p>授業中に隣の席の女の子・キムが、ぼくのほうを見て「すてき…」って言った。「ぼくがステキってこと?」「ステキってなんだろう?」「ステキってどういうことだろう?」ぼくは考えるけれど、よくわからない。サッカーの練習中も「すてきってなんだろう?」と考える。迎えにきてくれたおばあちゃんが、「ゆうやけが とても きれい。ね?すてきね」と言った。次の日学校に行ったぼくは、キムにおはようをいうために、ちかづいたのだが……。 「すてき」という言葉から毎日の生活を振り返り、一歩成長することができた少年の物語絵本。</p>
2																
書名	ぼくって、ステキ?															
著者等	文 ファン・インチャン 訳 おおたけきよみ 絵 イ・ミョンエ															
出版社	光村教育図書															
定価	1,400															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年2月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ゆびのすうじ へーんしん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 齋藤陽道 絵 あわい</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>アリス館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年3月</td></tr> </table>	3		書名	ゆびのすうじ へーんしん	著者等	作 齋藤陽道 絵 あわい	出版社	アリス館	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2023年3月	<p>この本は、1から10までの指数字が登場する。著者は、写真家・文筆家として活動する著者の齋藤陽道さん。陽道さんの妻である盛山麻奈美さんが、お子さんとお風呂に入っている時に始めた遊びがもとになっている。絵は、聴者だが手話を習っているイラストレーターのあわいさんが担当している。巻末にある二次元コードを読み取ると、盛山さんが実演する動画を見ることができ、子どもたちと一緒に手や顔、全身を使って読むことができる、手話のある生活から生まれた絵本。</p>
3																
書名	ゆびのすうじ へーんしん															
著者等	作 齋藤陽道 絵 あわい															
出版社	アリス館															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2023年3月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>リジーと雲</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 テリー・ファン&amp;エリック・ファン 訳 増子久美</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>化学同人</td></tr> <tr><td>定価</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2023年2月</td></tr> </table>	4		書名	リジーと雲	著者等	作 テリー・ファン&エリック・ファン 訳 増子久美	出版社	化学同人	定価	2,000	対象	小学校低学年～	発行	2023年2月	<p>土曜日、リジーはいつものようにお父さんとお母さんと一緒にさんぽに出かけた。公園についたリジーはまっすぐに雲売りのところに行き、雲を買った。オウムやウサギ、サカナやゾウの形をした雲もあったけれど、リジーが選んだ雲は、よく見かけるふつうの形の雲だった。リジーは、雲にミロとなまえをつけた。「くものおせわのしかた」を読んで世話をしていくリジー。やがて、ミロは大きくなってきてきて……。雲をながめるのが好きな人や、夢を見るのが好きな人にとって、雲を育てているリジーをうらやましい気持ちを抱きながら読み進めていくことができるファンタジー絵本。</p>
4																
書名	リジーと雲															
著者等	作 テリー・ファン&エリック・ファン 訳 増子久美															
出版社	化学同人															
定価	2,000															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年2月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>バスが来ましたよ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 由美村嬉々 絵 松本春野</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>アリス館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年6月</td></tr> </table>	5		書名	バスが来ましたよ	著者等	作 由美村嬉々 絵 松本春野	出版社	アリス館	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2022年6月	<p>病気のために全盲となった山崎さんはたくさんの練習の末、一人でバスで通勤する日を迎える。その緊張した背中に「バスが来ましたよ」と声をかけたのは、小学生のさきちゃんだった。それから、その声かけはさきちゃんが卒業するまで毎日続くことになる。やがて、さきちゃんが卒業すると、その「声かけ」のバトンは妹や他の子へと引き継がれ、山崎さんの退職の日まで続いていく。実話を元にした絵本。</p>
5																
書名	バスが来ましたよ															
著者等	作 由美村嬉々 絵 松本春野															
出版社	アリス館															
定価	1,400															
対象	小学校中学年～															
発行	2022年6月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>かみさまのベビーシッター2 ライバルはあかちゃん!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 廣嶋玲子 絵 木村いこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>理論社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年5月</td></tr> </table>	6		書名	かみさまのベビーシッター2 ライバルはあかちゃん!	著者等	作 廣嶋玲子 絵 木村いこ	出版社	理論社	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2022年5月	<p>8歳の幸介の家族は、幸介と父と母、それから神様だ。神様のボンテンは甘えん坊で、わがままで、お世話も大変。でも、このところ、レベルが上がって大人っぽくなったように感じていた。ところが、幸介の家で赤ちゃんをあずかることになり、ボンテンは赤ちゃんにやきもちをやいてしまう。赤ちゃんのようになってしまったボンテンに家族は大混乱。赤ちゃん返りをしたボンテンと家族の明るい物語。</p>
6																
書名	かみさまのベビーシッター2 ライバルはあかちゃん!															
著者等	作 廣嶋玲子 絵 木村いこ															
出版社	理論社															
定価	1,400															
対象	小学校中学年～															
発行	2022年5月															
(分類番号 913)																

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>星空としょかんのジュリエット</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 小手鞠るい 絵 近藤未奈</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小峰書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校中学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年10月</td> </tr> </table>	7		書名	星空としょかんのジュリエット	著者等	作 小手鞠るい 絵 近藤未奈	出版社	小峰書店	定価	1,200	対象	小学校中学年～	発行	2022年10月	<p>家族をなくしたなずな、まりあ、まさのりの姉弟は、他の子どもたちといっしょにルナママの家で暮らしている。主人公まりあは3姉弟の真ん中で、本が大好き。まりあは、姉なずなの元気がないことに気づき、内心心配していた。そんなとき、ルナママの家で星空としょかんのお兄さんとその仲間たちによる「ロミオとジュリエット」の劇が上演される。姉の初恋のために、まりあとまさのりは涙が笑顔に変わるようなとびきりの作戦を実行する。</p> <p>(分類番号 913)</p>
7																
書名	星空としょかんのジュリエット															
著者等	作 小手鞠るい 絵 近藤未奈															
出版社	小峰書店															
定価	1,200															
対象	小学校中学年～															
発行	2022年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">8</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>アタックライン3 声出していこう!</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 中松まるは 絵 かわいちひろ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>あかね書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年3月</td> </tr> </table>	8		書名	アタックライン3 声出していこう!	著者等	作 中松まるは 絵 かわいちひろ	出版社	あかね書房	定価	1,200	対象	小学校高学年～	発行	2023年3月	<p>背が低くてもバレーボールはできる!と努力をし続けてきた美桜。美桜自身もチームも成長し、待ちに待った地方大会を迎えた。しかし、初戦を落としてしまう。チームのムードは最悪になり、コーチや監督に言われ、話し合いをすることに。思いもよらなかった本音をぶつけあい、美桜たちは次の試合へ向かう。好きなことへあきらめずチャレンジして道を自分で作るスポーツ物語第3巻。</p> <p>(分類番号 913)</p>
8																
書名	アタックライン3 声出していこう!															
著者等	作 中松まるは 絵 かわいちひろ															
出版社	あかね書房															
定価	1,200															
対象	小学校高学年～															
発行	2023年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">9</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>旅するわたしたち On the Move</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 ロマナ・ロマネーション、アンドリー・レシヴ 訳 広松由希子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ブロンズ新社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年5月</td> </tr> </table>	9		書名	旅するわたしたち On the Move	著者等	作 ロマナ・ロマネーション、アンドリー・レシヴ 訳 広松由希子	出版社	ブロンズ新社	定価	2,200	対象	小学校高学年～	発行	2023年5月	<p>旅や移動に関連した歴史や豆知識をカラフルなイラストとともに描いた絵本。ウクライナの作家の作品。色鮮やかなイラストは、見ているだけで楽しく、歴史や乗り物、生き物や宇宙など「動くこと」をテーマにあつかわれる分野は広く、「知っていること」や「知らなかったこと」が詰まった図鑑のような絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
9																
書名	旅するわたしたち On the Move															
著者等	作 ロマナ・ロマネーション、アンドリー・レシヴ 訳 広松由希子															
出版社	ブロンズ新社															
定価	2,200															
対象	小学校高学年～															
発行	2023年5月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">10</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>難民の? (ハテナ) がわかる本</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 木下理仁 イラスト 山中正大</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>太郎次郎エディタス</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年4月</td> </tr> </table>	10		書名	難民の? (ハテナ) がわかる本	著者等	著 木下理仁 イラスト 山中正大	出版社	太郎次郎エディタス	定価	1,000	対象	中学生～	発行	2023年4月	<p>「難民」とは何だろうか?言葉からイメージできることはいろいろあるが正しく説明することは難しい。たとえば未来の日本で「茶髪禁止法」が制定されたとして、髪型の自由を求めて国外へと逃れた家族は難民認定されるのだろうか?筆者は様々な課題を提起して「あなただったら、どうする?」「何を持って逃げる?」「君は、どう考える?」などと問いかける。世界に一億人もいるという「難民」や「避難民」について本書は平易な言葉でわかりやすく教えてくれる。また「難民条約」について日本をはじめ各国の対応の違いや問題点についても触れており、基本をしっかり押さえながら本のボリュームは控えめで読み易い、入門書として最適な一冊。</p> <p>(分類番号 369)</p>
10																
書名	難民の? (ハテナ) がわかる本															
著者等	著 木下理仁 イラスト 山中正大															
出版社	太郎次郎エディタス															
定価	1,000															
対象	中学生～															
発行	2023年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">11</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>川滝少年のスケッチブック</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 小手鞠るい 画 川瀧喜正 装丁 岡本歌織(next door design)</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>講談社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年6月</td> </tr> </table>	11		書名	川滝少年のスケッチブック	著者等	作 小手鞠るい 画 川瀧喜正 装丁 岡本歌織(next door design)	出版社	講談社	定価	1,400	対象	中学生～	発行	2023年6月	<p>物語はアメリカ在住の中学生・深青(みお)が亡き父の故郷である岡山の祖父を訪ねるところから始まる。そこで出会ったスケッチブックには祖父「川滝少年」の生い立ち漫画と文字で描かれていた。憧れのパイロットをめざして岡山工業学校へ入学したもの、授業は「軍事教練」に置き換わる。立派な「軍国少年」になるべく「勤労奉仕」に明け暮れた様子、空襲や爆撃などの苛烈な体験、終戦直後の様子などをスケッチブックに描いた「川滝少年」は現在91歳。著者の実父である川瀧喜正さんだ。戦争だけでなく、昭和の暮らしや食べ物、お祭り、子どもの遊びなど当時の生活が生き生きと描かれ、人々の思いが伝わってくる物語を若い世代にぜひ手渡したい。</p> <p>(分類番号 913)</p>
11																
書名	川滝少年のスケッチブック															
著者等	作 小手鞠るい 画 川瀧喜正 装丁 岡本歌織(next door design)															
出版社	講談社															
定価	1,400															
対象	中学生～															
発行	2023年6月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">12</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>手で見るぼくの世界は</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 檜崎 茜 装画・挿絵 酒井以</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>くもん出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～中学生</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年11月</td> </tr> </table>	12		書名	手で見るぼくの世界は	著者等	作 檜崎 茜 装画・挿絵 酒井以	出版社	くもん出版	定価	1,400	対象	小学校高学年～中学生	発行	2022年11月	<p>視覚支援学校に通う二人の中学生の物語。中学部進学と同時に校舎に隣接する寄宿舎で生活を始めた佑。同級生の双葉は小学部の卒業式を控えたある日、晴眼者(視覚に障がない人)から投げつけられた暴言によって家から出ることができなくなっていた。佑は何かと頼れる存在でもあった双葉がいなかったことを不安に感じ、また登校できない双葉を気にかけている。気持ちが晴れない佑だが、新しい同級生たちとの生活にも少しずつ慣れ、世界を広げていく。視覚支援学校での授業や訓練の様子、ブラインドマラソンなど見えない人の世界を知ることは晴眼者の世界も広げる。困難を乗り越え一歩ずつ目標に向かって進んでいく姿に心打たれる物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
12																
書名	手で見るぼくの世界は															
著者等	作 檜崎 茜 装画・挿絵 酒井以															
出版社	くもん出版															
定価	1,400															
対象	小学校高学年～中学生															
発行	2022年11月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>希望のひとしずく</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 キース・カラブレゼ 訳 代田亜香子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>理論社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～中学生</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年6月</td> </tr> </table>	13		書名	希望のひとしずく	著者等	著 キース・カラブレゼ 訳 代田亜香子	出版社	理論社	定価	1,800	対象	小学校高学年～中学生	発行	2023年6月	<p>オハイオ州の小さな町クリフ・ドネリーの伝承によると、一度にひとつの希望を叶えてくれるという古い井戸「トンプキンス井戸」が町のどこかにあるらしい。町の中学に通う裕福な工場経営者の一人っ子アーネストは、ひよんなことからその伝説の井戸を見つける。同級生のライアンとリジーも加わり、3人で井戸に通ううちに人々の悩みや願い事を聞いてしまい、なんとかこれを叶えようと奔走することになる。実はアーネストは亡き祖父から「屋根裏のかたづけ」を頼まれているのだが、その屋根裏のガラクタにみえる物が不思議な縁で誰かの手に渡るとき、奇跡的にその人の願いが叶って救われていく。パズルの隙間が埋まっていくような爽快な物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
13																
書名	希望のひとしずく															
著者等	著 キース・カラブレゼ 訳 代田亜香子															
出版社	理論社															
定価	1,800															
対象	小学校高学年～中学生															
発行	2023年6月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>最後の語り部</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ドナ・バーバ・ヒグエラ 訳 杉田七重</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>東京創元社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年4月</td> </tr> </table>	14		書名	最後の語り部	著者等	著 ドナ・バーバ・ヒグエラ 訳 杉田七重	出版社	東京創元社	定価	2,800	対象	中学生～	発行	2023年4月	<p>2061年、地球を破滅させる彗星の衝突が近づく中、13歳のペトラは両親、弟と一緒に選ばれた一部の人間たちとともに恒星間植民船に乗りこみ地球を脱出する。いつも物語を聞かせてくれた大好きなおばあちゃんを地球に残してきたことが心に影を落としていた。船内では新天地に必要な知識が睡眠中の人々の脳にインストールされるはずだった。だが380年後、目覚めてみるとペトラ以外の乗客は地球の記憶を消され、多様性を排除し、画一的な思考を基に平和を確立しようと姿まで変えた人々（コレクティブ）に支配されていた。「物語」を武器に自由を求めて戦う少女を描き、人間とは何かを問いかけ、物語の持つ力に勇気づけられる傑作。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
14																
書名	最後の語り部															
著者等	著 ドナ・バーバ・ヒグエラ 訳 杉田七重															
出版社	東京創元社															
定価	2,800															
対象	中学生～															
発行	2023年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>森の赤鬼：C.W. ニコルの軌跡</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 北沢 彰利</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>信濃毎日新聞社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年5月</td> </tr> </table>	15		書名	森の赤鬼：C.W. ニコルの軌跡	著者等	著 北沢 彰利	出版社	信濃毎日新聞社	定価	1,800	対象	高校生～	発行	2023年5月	<p>C.W. ニコルは1940年英国ウェールズに生まれ、体の弱かった少年時代に柔道を通じて日本文化に触れる。いじめに抗い、反骨精神が芽生え、17歳で初めて北極探検の旅に出る。22歳の時に格闘技修行のため初来日した。その後、カナダの海洋・生物調査やエチオピアの国立公園づくりなど、世界中を駆け巡る。日本の捕鯨文化に強い関心を持ち、「勇魚」を執筆する。そして日本永住を決意し、40代で北信州・黒姫に定住する。私財を投じて山林を買い取り、2002年に「一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団」を設立する。自然を愛する心と地球の環境や生き物の共存、子どもたちの未来へと想いをつなぐ、2020年に亡くなったC.W.ニコルの生涯を追った伝記。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 930)</p>
15																
書名	森の赤鬼：C.W. ニコルの軌跡															
著者等	著 北沢 彰利															
出版社	信濃毎日新聞社															
定価	1,800															
対象	高校生～															
発行	2023年5月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>成瀬は天下を取りに行く</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 宮島未奈</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>新潮社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,550</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年3月</td> </tr> </table>	16		書名	成瀬は天下を取りに行く	著者等	著 宮島未奈	出版社	新潮社	定価	1,550	対象	高校生～	発行	2023年3月	<p>2020年、一学期最終日の下校中、成瀬あかりがまた変なことを言い出した。島崎みゆきは同じ中学2年生で、成瀬の幼馴染である。何でもできる成瀬はちょっと変わっていて、突然突拍子もない行動を起こす。今回は、閉店のカウントダウンが始まった西武大津店に毎日通い、ローカル番組の中継に映ると言うのだ。その後も島崎とM-1に挑戦したり、自身の髪で長期実験を初めたり、膳所の祭りの司会を務めたり。周りに流されず全力で我が道を突き進む成瀬はいろいろなところに影響を与え、その存在感は周囲の人々を放っておかせない。そんな成瀬の中学2年の夏から高校3年までを6つの短編で描いた、滋賀愛あふれる青春小説。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
16																
書名	成瀬は天下を取りに行く															
著者等	著 宮島未奈															
出版社	新潮社															
定価	1,550															
対象	高校生～															
発行	2023年3月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>この夏の星を見る</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 辻村深月</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>KADOKAWA</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年6月</td> </tr> </table>	17		書名	この夏の星を見る	著者等	著 辻村深月	出版社	KADOKAWA	定価	1,900	対象	高校生～	発行	2023年6月	<p>2020年春、新型コロナウイルス感染症が広まり、感染予防のため全国一斉休校の措置が取られた。登校が始まってからも部活動は制限され、目指す大会は次々中止されていく。茨城県立砂浦第三高校2年生の亜紗、渋谷区立ひばり森中学1年生の真宙、五島列島にある長崎県立泉水高校3年生の円華は、それぞれの場所で大きな不安ともやもやした気持ちを抱えていた。そんな中、理科部に入った真宙は亜紗の高校が行っていた「スターキャッチコンテスト」に興味を持ち、一緒にコンテストをやることに。さらに五島天文台からのつながりで、円華たちもコンテストに参加することになる。天文活動を通じてつながった生徒たちは、さらに多くの人々とつながっていく。コロナ禍明けの希望が見える青春小説。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
17																
書名	この夏の星を見る															
著者等	著 辻村深月															
出版社	KADOKAWA															
定価	1,900															
対象	高校生～															
発行	2023年6月															

	<b>18</b>		<p>星川駒子は神奈川県立戸代原高校の図書館に勤める34歳の学校司書。この学校に赴任して2年目の秋を迎えたところだ。利用者を増やすべくいろいろな方策を考えている。カウンターの「本について相談したいことがあったらなんでも声をかけてね」というプレートを見た生徒からある日、「殺人事件に巻き込まれたかも」と相談を持ち掛けられる。たまたま配達に来ていたユーカリ書店の針谷敬斗と共に、駒子はその謎を解いていく。生徒が持ち込む謎は過去と現在を結び、駒子の前任校での黒歴史や学校の抱える問題、学校図書館のあり方が浮かび上がる。現存するたくさんの本をお話の中にちりばめつつ、高校生の日常を描くミステリーでもあり、司書視点からの学校図書館を描くお仕事小説でもある。</p>
	書名	27000冊ガーデン	
	著者等	著 大崎梢	
	出版社	双葉社	
	定価	1,600	
	対象	高校生～	
発行	2023年4月	(分類番号 913)	
	<b>19</b>		<p>アマニとフーダは親友で義務教育終了間近の11年生。お互い親友にも言えない秘密を抱えている。アマニの父は有名な獣医師だが、母に暴力を振るい支配する。我慢するだけで何もできない母は、親戚たちからも非難されている。フーダは完璧な養親にもものすごく愛されているのだが、里親が子どもを授かったことで自分は必要とされなくなってしまうのではと不安を抱えている。ある時二人はお互いの事情を知るが、気持ちがすれ違ってしまふ。学校ではクラスメイトの秘密を暴露するブログが出回って、アマニは追い詰められていく。しかし、先生からの信頼のある言葉がきっかけで、アマニは未来を変えるために自ら行動を起こそうと思いつく。家族と友情を取り戻し、前へと進んでいく物語。</p>
	書名	ディス・イズ・マイ・トゥルース わたしの真実	
	著者等	著 ヤスミン・ラーマン 訳 代田亜香子	
	出版社	静山社	
	定価	1,900	
	対象	高校生～	
発行	2023年1月	(分類番号 933)	